

【村野藤吾氏と宝塚】

県立宝塚西高校 平成30年度1年3組

村野藤吾氏

村野氏は、佐賀県出身で戦前・戦後を通して活躍していた著名な建築家です。
昭和15年に宝塚に移り住み宝塚市内にも彼の作品があります。

略歴

明治24(1891)年：佐賀県で生まれる
明治43(1910)年：福岡県小倉工業学校（現小倉工業高校）機械科を卒業、八幡製鐵所に入社
大正2(1913)年：早稲田大学理工学部電気工学科入学
大正4(1915)年：早稲田大学理工学部建築学科へ移る
大正7(1918)年：早稲田大学理工学部建築学科卒業、渡辺節建築事務所に入所
昭和4(1929)年：村野建築事務所設立
昭和15(1940)年：宝塚に移住
昭和17(1942)年：清荒神に自らの設計で自宅を建築（阪神・淡路大震災で損壊し撤去）
昭和59(1984)年：93歳で永眠

村野藤吾氏と宝塚

村野氏は、昭和15(1940)年に宝塚に移ってこられ、翌年には自ら設計した自宅を清荒神に建築しています。
宝塚市に今も残る村野氏設計の建築物は、**宝塚ゴルフ倶楽部クラブハウス、カトリック宝塚教会、宝塚市役所**があります。

カトリック宝塚教会は、阪急今津線の逆瀬川・宝塚南口間の線路のすぐ脇に建っている所以大家ご存じの建築物だと思います。また、宝塚ゴルフ倶楽部のクラブハウスも宝塚ゴルフ場前停留所付近で通学バスの車窓から見ることができます。宝塚市役所は、1月に開催される予定のマラソン大会のスタート地点から見ることができます。



《宝塚ゴルフ倶楽部》
宝塚市蔵人字深谷
昭和34(1959)年竣工



《宝塚カトリック教会》
宝塚市南口
昭和40(1965)年竣工
大洋を漂う白鯨をイメージしたデザイン



《宝塚市役所》
宝塚市東洋町
昭和55(1980)年竣工
L字型の構造で、上部にある円筒が議場になっている

村野氏の作品

(作品は日本全国にありますが、ここには阪神間にあるものの一部を掲載しました)

昭和 34(1959)年：宝塚ゴルフ倶楽部 三代目クラブハウス

昭和 37(1962)年：尼崎市庁舎 (尼崎市)

昭和 38(1963)年：梅田換気塔 (大阪市北区)

昭和 39(1964)年：甲南女子大学学舎 (神戸市)

昭和 40(1965)年：カトリック宝塚教会 (宝塚市)

昭和 44(1969)年：西宮トラピスチヌ修道院 (西宮市)

昭和 45(1970)年：兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー (旧兵庫県立近代美術館) (神戸市)

昭和 55(1980)年：宝塚市庁舎 (宝塚市)

上記以外にも、日本各地に様々な作品があります。

受賞歴

昭和 28(1953)年：日本芸術院賞

昭和 28(1953)年：日本建築学会賞作品賞 (丸栄百貨店)

昭和 30(1955)年：日本建築学会賞作品賞 (世界平和記念聖堂)

昭和 33(1958)年：藍綬褒章

昭和 39(1964)年：日本建築学会賞作品賞 (日本生命日比谷ビル)

昭和 42(1967)年：文化勲章

昭和 45(1970)年：アメリカ建築家協会 (AIA) 名誉会員

昭和 47(1972)年：日本建築学会建築大賞 (箱根樹木園休息所)

昭和 48(1973)年：早稲田大学名誉博士号

昭和 52(1977)年：毎日芸術賞 (小山敬三美術館)

平成 17(2005)年：渡辺翁記念会館 (宇部市・1937 年築) が村野の作品として初めて国の重要文化財に指定

平成 18(2006)年：世界平和記念聖堂 (広島市・1953 年築) が、戦後建築初の重要文化財指定